

アメダス観測所の再配置

気象庁は、平成 21 年度、防災業務への活用を図るためアメダス観測所の再配置を行いました。

福岡管内でも観測環境等が悪化した観測所（13 か所）を移設するとともに、これまで冬期に観測できなかった無線ロボット雨量観測所の移設・有線化（7 か所）を行い、降水量の通年監視を可能にしました。

現在、九州・山口県内に設置しているアメダス観測所（気象官署含む）は 181 か所です。

表 1 移設した観測所（13 か所）

種 類	旧観測所名（所在県）	新観測所名
雨量観測所	九千部山（福岡）	早良脇山
	長野山（山口）	鹿野
	諫早（長崎）	諫早
	和多田（佐賀）	鳥栖
	見立（宮崎）	日之影
	中小屋（宮崎）	都農
4 要素観測所 ・降水量 ・気温 ・風向風速 ・日照時間	防府（山口）	防府
	佐伯（大分）	佐伯
	口之津（長崎）	口之津
	枝去木（佐賀）	唐津
	白石（佐賀）	白石
	南小国（熊本）	南小国
	古江（宮崎）	古江

表 2 有線化（移設を含む）した無線ロボット雨量観測所（7 か所）

旧観測所名（所在県）	新観測所名
桜山（山口）	東厚保
長浦岳（長崎）	長浦岳
権現山（佐賀）	北山
間の谷山（熊本）	山都
池の尾（宮崎）	野尻
入来峠（鹿児島）	八重山
紫尾山（鹿児島）	紫尾山

